

※注意：作答時，請於答案卷上標明作答之部分及其題號。

「日本文学史」試験問題 50%

(注意：日本語で答えなさい。第五題は答えるときに問題も写しなさい。)

一、平安時代の物語文学の流れについて述べなさい。(10%)

二、中世の説話文学について述べなさい。(10%)

三、町人文学と言われる近世(徳川時代)における散文文学の主流は読本である。その発生の概略と文学の特質を徳川時代の歴史と文化の背景——特に中国文学との密接なかわり——に基づいて要点的に述べてみなさい。そして、前期と後期のもっとも代表的な作家を二人ずつ挙げ、それぞれの代表作品を一つずつ紹介しなさい。(10%)

四、近代前期の詩壇の双璧と称えられたのは、土井晩翠と島崎藤村である。二人の詩人の詩風は対蹠的になっていると言われるが、それについて説明を加えなさい。(10%)

五、次の作品の作者(编者、または撰者)を書きなさい。(10%)

- 1、日本書紀 2、蜻蛉日記 3、万葉集
4、和漢朗詠集 5、とほずがたり 6、方丈記
7、凌雲集 8、風姿花伝 9、新古今和歌集
10、栄花物語 11、奥の細道 12、城の崎にて 13、山椒魚 14、病床六尺
15、万葉集代匠記 16、世間胸算用 17、心中天の網島
18、たけくらべ 19、ふらんす物語 20、秋刀魚の歌

「日本文化史」試験問題 50%

一、次の問いに述べなさい。(各題15%)

1、日本の中世の仏教について紹介しなさい。(15%)

2、1885(明治18)年に日本の思想家の福沢諭吉(1834-1901)が唱えた「脱亜論」すなわち、ヨーロッパの近代文明を日本に導入しようとした時代背景、及びその思想が日本に与えられた影響について説明しなさい。(15%)

二、次の言葉について説明しなさい。20% (各題5%)

- 1、聖徳太子 2、能楽
3、武士道 4、元禄文化